

代 表 者
山 上

研 修 報 告 書

令和4年11月11日

会 派 代 表 者 様

呉市議会議員 山上 文恵

次のとおり研修に参加したので報告します。

1. 研修期日

令和4年10月28日(金)～29日(土)

2. 研修項目

日本女性会議2022 in 鳥取くらよし

---

3. 参加議員

山上 文恵

## ■研修項目

### 第 39 回日本女性会議 2022 in 鳥取くらし

- ・研修日 令和4年10月28日（金） 11：00～17：30  
29日（土） 9：00～15：40

#### 【研修目的】

「受け継いでいく男女共同参画推進の取組」を学びあい、  
「誰もが生き生きと輝くために多様な視点から考える」講演・シンポジウムを通して、誰もがともに笑顔になれる夢ある未来を考える。

#### 【研修内容】

##### 分科会 未来創造コンテスト

###### ～高校生が夢をかなえる第1歩～

鳥取県立倉吉東・西・農業・総合産業高等学校の生徒さん達7グループから、SDGsの17の目標とのつながりを考えながら、地域活性化の発信をされ、抱える問題や課題を解決するために、行動に移し、未来につながる提案をして下さいました。

その高校生たちの発言に、ほめることもされ、ちょっと辛口の指摘をし、未来に向けての高校生のこれからの行動に、示唆を与えて下さいました助言者の東京大学名誉教授 上野千鶴子さんとリコージャパン株式会社マーケティング本部 自治体事業部の米谷正児が助言者として参加されています。

感想 司会者も高校生男子2人がされて、進行を上手にされてましたし、それぞれのグループのプレゼンも素晴らしかったです。

上野さんが、高校を卒業したら地元にありますか？海外に行きたくないですか？と問われました。

そして、「世界は広いです。自分の人生を狭めないで世界に出て行ってください。」と言われたことが、高校生の皆さんに通じたらいいなと思いました。

##### 分科会 避難行動要支援者について知る

###### ～あなたの近くの支援が必要な人へ、いざという時に…～

社会福祉法人リンク・理事長 永田 拓さんから

平成30年の西日本豪雨災害の真備町での出来事を話されました。障害のある一人の女性とそのお子さんの話です。災害に合い、行方知れずになり、亡くなっていたことが分かったそうです。

助けてあげることができなかつた辛さ、生活がしずらい人たちにとっての災害は、さらに、取り残されてしまうことが分かつたそうです。

特に、避難所での生活は、障害のある人たちにとっては、騒音の中での生活であり、安心にはつながらないことが分かりましたとの事。

リチャードソン晶子・恵美里親子さんから

恵美里さんは、今小学1年生。人工呼吸器・気管切開・胃ろう・吸引・導尿などの必要な医療的ケア児。

そんな親子の日常のお話と、災害時でのどんな支援が必要だったかを話されました。

医療的ケア児はそれぞれ対応が違います。一番必要なものは電気でした。

そして、幸せか幸せでないかは、本人が決めますと。

今、恵美里は命があることが奇跡なんですよとおっしゃっていました。

「大丈夫？何か助けようか？」声をかけて下さいとおっしゃっていました。

永田さん

具体的支援は、支え愛マップの作成です。

ご近所で、作って下さい。声を掛け合って逃げましょう！と言われました。

感想

障害のある方とのコミュニケーションの取り方を教えていただきました。なかなか難しい事ですが、特に災害の時のコミュニケーションを取る必要性を感じました。

#### 【呉市での展開の可能性】

未来を託す高校生の行動を地域が支え、発展させてあげることができればいいなあと思いました。

議会報告会で高校に行かせていただきましたが、高校生の提案を受ける議会報告会もいいのではと思いました。

また、災害時の障害のある方々とのコミュニケーションの重要性を日頃から、考えていく方策を考えてくべきことだと思いました。そして、支え愛マップを作りましょう！

### 特別講演（トークショー）

だれもが生き生きと輝くために、私たちが考えるジェンダー平等  
～未来に向けて若い世代への応援メッセージ！～

タレントの上地雄輔さんと元大関 琴奨菊の秀ノ山親方のトークショーでした。司会を実行委員会 企画部会長の竹男征二さんがされました。

『それぞれの分野で活躍されているお二人に、自分や家族、仲間の「やってみたい」を叶えるためにどんなことをしてきたのか、またどんなサポートをしたのか、体験談を通してうかがいます。』と書かれていましたが、内容は、秀ノ山親方の断髪式の事、上地雄輔さんのすもう・野球・歌手・タレント人生の話でした。

感想 日本女性会議の一番の目的のジェンダー平等の話は出て来ませんでした。それで良かったのでしょうか？  
とても残念でなりませんでした。

### 《心に響いた事》

2日間の昼食のお弁当を倉吉北高等学校の調理科の生徒さんが作られました。

素晴らしかったです。どこの仕出し屋ですかと聞きたいほどでしたし、見た目も素晴らしかったですし、倉吉をPRし地域を訴えている弁当でした。

鳥取県の地元の食材をふんだんに使用し、郷土料理も盛り込んで作られています。

会場：倉吉未来中心 大ホール  
12:30～15:00

## 未来創造コンテスト ～高校生が夢をかなえる第1歩～

地元倉吉の高校生が、SDGsの17の目標とのつながりを考えながら、鳥取県中部地区の魅力在全国に発信します。ジェンダー平等の取組をはじめ持続可能な社会を実現するためには、あらゆる年代の関りが重要です。ぜひ高校生の未来に向けた発表をご覧ください。

### 助言者

**上野 千鶴子**  
(うえの ちづこ)

東京大学名誉教授



©菅野勝男撮影

専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。『上野先生、フェミニズムについてゼロから教えてください!』(大和書房)、『近代家族の成立と終焉 新版』(文庫版(岩波書店))『人生のやめどき』(樋口恵子と共著、マガジンハウス)など著書多数。最新刊に『女の子はどう生きるか 教えて、上野先生』(岩波ジュニア新書)、『在宅ひとり死のススメ』(文春新書)がある。

**米谷 正児**  
(よねや まさる)

リコージャパン株式会社  
マーケティング本部  
自治体事業部



リコーは、100歳を迎える2036年に向けて「はたらくに遊びを」をビジョンとして掲げています。2020年度からは、「デジタルサービスの会社への変革」を掲げ、デジタルの力を活用し、人と情報、オフィスと現場をつなぎ、ワークフロー全体を改革し、お客様の生産性の向上や業務の効率化に貢献していくことを目指しています。RE100にもいち早く手を挙げ、全国の自治体、民間企業、大学等へ伺いSDGsや脱炭素の啓発を行っています。

プライベートでもスポーツ振興、地域連携事業、子ども会活動等、熱心に展開しています。

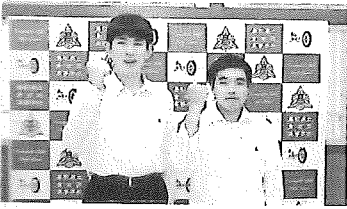
### 発表者

#### 【地域活性戦隊～ロクレンジャー】 鳥取県立倉吉東高等学校



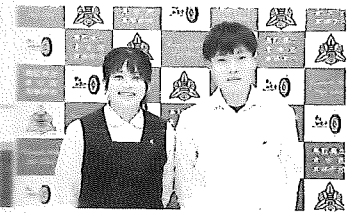
私たちが、この先も鳥取に住み続けるには、どうすればよいのか？それは“ここ、鳥取に住んでいる幸せ”を感じることに。私たち高校生が考える“地元の未来像”。それを実現するために、どのように高校生が参画するか、探究します。

## 【倉吉広域緑化団】 鳥取県立倉吉西高等学校



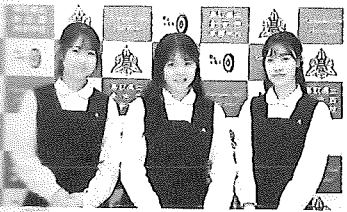
活気あふれる倉吉市にするために考えた「グリーンカーテンプロジェクト」について紹介します。地域の方々と共に、SDGsの目標を達成するため、住み良いまちづくりと森林減少の阻止を行い、地域の活性化を目指しています！

## 【Kura Love】 鳥取県立倉吉西高等学校



年々人口減少が進んでいる鳥取県を、高校生なりの視点でどう解決していくか考えた内容を発表します。具体的に地域のお店紹介を行い、さまざまな地域からの集客を行って地域活性化を目指します！！

## 【田舎の女子高生】 鳥取県立倉吉西高等学校



私たちはLGBTについて話します。最近注目されているLGBTを取り巻く環境について考えていきたいと思えます。私たちは、YouTuberのとうあさんをきっかけにLGBTについて研究しようと思えました。LGBTを隠すことなく、元気を与えてくれるとうあさんのような人が増えてほしいと思っています。

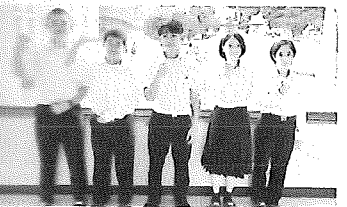
## 【#未来発見】 鳥取県立倉吉西高等学校

5年間 あゆみ



県中部地区に住む私たちは、美しい里山、川、海、温泉、季節の味覚、農作物等多くの恵みを受け生活しています。この生活が未来も持続できるよう、抱える問題や課題が解決されるワクワク楽しい仕組みを提案します。

## 【チーム 青パイヤ】 鳥取県立倉吉農業高等学校



発表内容は、青パイヤの研究についてです。雨が沢山降り軟腐病が発生したり、風が強く吹き、青パイヤが倒れてしまったりと苦労することがありました。今回の発表を機に、多くの方に青パイヤについて知ってもらいたいです。

## 【スープはるさめ】 鳥取県立倉吉総合産業高等学校



こんにちは、倉吉総合産業高等学校です。本校は商業学科の「チャレンジショップくらそうや」、家庭学科の食品商品開発など、それぞれの特色を活かした発表にできたらとアイデアを出し合ってきました。私たちの取り組んでいることを「おもしろそう」と思ってくれる人がいたら嬉しいです、私たちにとっても色々な学びや気づきにつながるのではと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

【会場】 倉吉未来中心セミナールーム3  
15:30～17:30

講演&パネルディスカッション

## 避難行動要支援者について知る

～あなたの近くの支援が必要な人へ、いざというときに…～

近年、日本のどこかで起こる大きな災害。とりわけ毎年想定外の降り方といわれる豪雨、線状降水帯という言葉もその脅威とともに、私たちの生活の中に入り込んできています。そんな状況に直面した時いつ逃げるのか、どうやって逃げるのか、迷うのは当然です。さらに自ら動けない人は？その家族は？私たちの周りにも、その時の支援を必要としている人があ  
るはず。そのことに目を向ける一助となればと、このディスカッションを企画しました。  
参加してくださる方とこの時間を共有し、地域のつながりが深まっていくことを願います。

講師／パネリスト

永田 拓 (ながた たく)



### 社会福祉法人リンク・理事長

岡山県倉敷市出身。川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科卒業。  
倉敷市内の社会福祉法人にて勤務（相談支援業務担当）

2010年 特定非営利活動法人リンク 理事長

2010年 川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科非常勤講師  
（～2017年まで）

2018年 社会福祉法人リンク 理事長

日本相談支援専門員協会政策委員、岡山県障害者相談支援アドバイザー事業圏域相談支援コーディネーター、岡山県自立支援協議会人材育成部会会長、社会福祉法人めやす箱監事、岡山県立倉敷まきび支援学校評議員、岡山県相談支援専門員協会会長。

著書：『障害福祉従事者のための相談支援実務Q & A』（2022年・中央法規・執筆）

コーディネーター

## 山下 弘彦 (やました ひろひこ)



### 日野ボランティア・ネットワーク代表

1966年生まれ。鹿児島市出身。

2000年10月に発生した鳥取県西部地震後、日野町を拠点に諸機関と連携して子どもから高齢者まで地域ぐるみで被災後の地域づくり活動に取り組む。

東日本大震災、鳥取県中部地震、平成30年7月豪雨（西日本豪雨）、令和4年8月豪雨など大規模災害時には、災害ボランティアセンター・社会福祉協議会などを通じ住民・地域の支援にあたり、岡山県くらし復興サポートセンター、八代市地域支え合いセンターのアドバイザーを務めるなど復興期に暮らしを取り戻す支援も続けている。平時は、日野町から「ひの防災・福祉コミュニティセンター」を受託運営するなど、町・県内外で防災と福祉が連携した取り組みを支援している。

パネリスト

## 白鳥 孝太 (しらとり こうた)



### 鳥取県災害福祉支援センター 特任参事

阪神・淡路大震災（1995年）で災害時のボランティア活動を経験後、中間支援組織「阪神大震災地元NGO救援連絡会議」の事務局員となる。新聞社勤務を経て2005年から国際協力団体（NGO）の緊急救援担当職員として国内外の被災地で避難者支援、避難所運営、仮設住宅での生活支援、復興まちづくりなどに従事。2017年、鳥取県が（公財）とっとり県民活動活性化センターに設置した「震災復興活動支援センター」に就任、鳥取県中部地震（2016年）の被災者支援を担当。2021年、同県が新たに（社福）鳥取県社会福祉協議会に設置した「災害福祉支援センター」に着任。防災士、子ども安全管理士、鳥取県自主防災活動アドバイザー。

## リチャードソン晶子・恵美里 (リチャードソン あきこ・えみり)



### 医療的ケア児と母

小学1年生。人工呼吸器・気管切開・胃ろう・吸引・導尿などの必要な医療的ケア児、と母。元気に生まれるも生後7ヶ月でリー脳症とてんかんを診断、その後急変しICUへ。人工呼吸器が必要となり今に至る。数々の峠を越え免疫治療を経て約1年1ヶ月後自宅へ。ここ2年半は出かけていないが、退院後はディズニーや東京、愛知、岡山、姫路など旅行にも多々出かけ地域の行事にも参加するなど楽しいことおいしいものを味わい元気に暮らす。4月から地域の小学校の特別支援学級で学ぶ。特別プログラムの授業と他の児童と笑いの絶えない教室で楽しく学び過ごしている。



# オープニング

開会アトラクション

9:40 ~ 10:00

## うつぶき 打吹童子ばやし

天女は子の幸せを祈り、子は母を想い太鼓と笛を打ち吹き鳴らす。

古くから打吹山を仰ぎ、その城下町として栄えた倉吉に伝わる天女と童子の伝説を「打吹童子ばやし」という形にして、子ども達の打つ吹く太鼓と笛の音で伝えていこうと、1992年7月に小学生和太鼓連として誕生しました。以来、地元倉吉はもとより県内外のたくさんのイベントで演奏しています。2013年には、中学生、高校生を中心とした和太鼓LEGEN童が創設され活動をスタートしました。

今日は、打吹童子ばやしの代表曲を組曲にして、打吹童子ばやしと和太鼓LEGEN童で演奏します。どうぞお楽しみください。



## 鳥取県立琴の浦高等特別支援学校ダンス部

創立10周年を迎える琴の浦高等特別支援学校は、北は、学校の校舎から一望できる美しい日本海、南には船上山という自然豊かな場所にあり、地域で古くから親しまれてきた「琴の浦」という呼び名が学校名になっています。ダンス部は創立2年目に創設されました。

全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選に参加する中で、障がいのある人もない人も一緒に楽しめるUDダンスに出会いました。

手話で歌詞の世界を表現したダンスは、手話が分からなくても何かを感じてもらえるのではないかと思います。手話を覚えて正確に表現をするのは、とても難しいですが、手話パフォーマンスを続けてきたことで、いろいろな地域からステージ発表の機会をたくさんいただくようになり、本当に感謝しています。「自分が楽しむ。見ている人も楽しめる。」をモットーにしています。よろしくお願ひします。



## 開会式

開会式 10:00～10:30

あいさつ / 大会長 倉吉市長 広田 <sup>かきやま</sup>一恭  
実行委員長 田中 響

来賓紹介  
祝 辞 / 鳥取県知事 平井 伸治  
倉吉市議会議長 福谷 直美

基調報告 10:30～11:00

### 「男女共同参画に関する最新状況について」

内閣府男女共同参画局長

岡田 恵子 (おかだ けいこ)

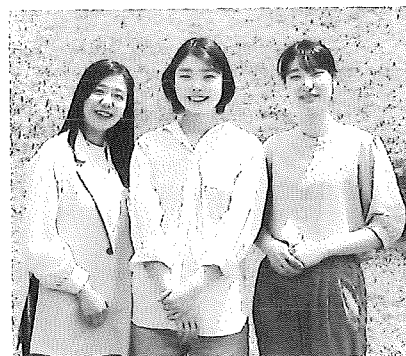
## 弱者が弱者のままで尊重される社会とは？

～「ひとりでも生きていけそう」と言われる私たちの経験から～

これまで私たちが見てきた社会、触れてきた言葉、そこには多くの理不尽と違和感があふれていました。地区行事の裏側でせかせか働かされる女性の姿、夫の地元で生きていくことを選んだ母親の背中、痴漢に遭うのは女性の油断だと言われたあの日。この社会を生きていくには、器用に空気を読むしかない、強くなるしかないと思ってきました。

だから「強い女」だと、「ひとりでも生きていけそう」と言われるとうれしかった。けれど、大学でフェミニズムを知って、弱者が弱者のままで尊重される社会を求める思想を知って、それがどんな社会を実現させるのか考えたいと思いました。

私たちはこれから社会に出ていく、女性です。1人で強く生きていきたい、だけど誰かと寄り添って生きてもいたいし、いつかはお母さんにもなりたい。揺れ動く感情と矛盾を抱えた私たちが、これから生きていく社会のことをお話しさせてください。



**パネリスト** 鳥取大学地域学部地域創造コース

井端 実優 (4年)・延東 佳音 (4年)・小嶋 蒼空 (3年)  
(いばた みゆ) (えんどう かのん) (こじま そら)

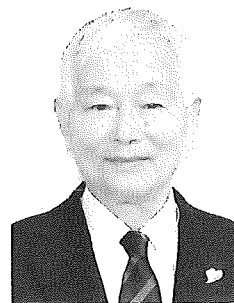


©菅野勝男撮影

**パネリスト** 上野 千鶴子 (うえの ちづこ)

(東京大学名誉教授／認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク理事長)

富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。社会学博士。平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、国際日本文化研究センター客員助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経る。1993年東京大学文学部助教授(社会学)、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2012年度から2016年度まで、立命館大学特別招聘教授。2011年4月から認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク(WAN)理事長。第20-22期学術会議会員。第23-25期日本学術会議連携会員。専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。社会学博士。



**座長** 山田 修平 (やまだ しゅうへい)

(学校法人藤田学院 鳥取看護大学・鳥取短期大学・附属認定こども園 理事長)

岐阜県生まれ、京都市育ち。京都産業大学大学院博士課程修了後、アメリカ・ジョージ・ワシントン大学特別研究員として留学。1979年4月、鳥取女子短期大学に赴任。助教授、教授。この間、短大の共学化を促進一を経て、2002年4月、共学となった鳥取短期大学学長に就任。2010年4月学校法人藤田学院理事長に就任、学長兼務。理事長として2015年4月鳥取看護大学設立。2016年3月短大学長退任。以降理事長職に専念。法人理念「地域とともに」を推進。鳥取県福祉研究会会長、鳥取県ボランティア・市民活動センター運営協議会委員長、ゆりはま総合創生戦略会議会長等歴任。専門分野：介護労働、社会福祉。特技、趣味：柔道、水泳、ウォーキング(鳥取県ウォーキング協会会長)

## 閉会式

閉会式

15:10～15:40

次期開催地メッセージ 奈良県橿原市

大会宣言

クロージングダンス Hui Hula Linolino (ファイ・フラ・リノリノ)

私たち ファイ・フラ・リノリノ は、地元倉吉と湯梨浜町で活動しているフラグループです。

私たちは、「笑顔のフラで心も体もハッピーに！」をモットーに、観てくださる方々に、明るい話題や笑顔をお届けできるよう、若いも若きもともに集い、和気あいあいと練習に励んでいます。

今日のステージに立てたことに喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

笑顔と元気が皆様へ届きますように、心を込めて踊ります。

